

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月30日

上場会社名 レオン自動機株式会社

（コード番号：6272 東証第1部）

（URL <http://www.rheon.com>）

代表者 代表取締役社長 林 虎彦

問合せ先責任者 取締役総務部長 渡辺 芳夫

（TEL：（028）665-1111）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無： 無

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

（1）売上高（百万円未満切捨て）

	百万円	%
平成16年3月期第1四半期	3,232	16.6
平成15年3月期第1四半期	2,772	-
（参考）平成15年3月期	16,218	3.0

（注）売上高は、当該四半期までの累計値です。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しています。

〔売上高に関する補足説明〕

（百万円未満切捨て）

区分	平成16年3月期第1四半期		平成15年3月期第1四半期		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
食品加工機械製造販売事業	2,482	76.8	1,854	66.9	627	33.8
食品製造販売事業	750	23.2	917	33.1	167	18.2
合計	3,232	100.0	2,772	100.0	460	16.6

食品加工機械製造販売事業につきましては、世界の民族食の生産機械として定着した包あん機を有する「食品成形機」は前年並みとなりましたが、生地回復工程（オーバーヘッドブルファー）を必要とせず、極めて省スペースでバラエティー豊かなパン成形を自動で行えるVシリーズを有する「製パンライン等」が欧米での販売が順調だったことにより、売上高は2,482百万円（前年同期比33.8%増）と堅調に推移いたしました。

一方、食品製造販売事業につきましては、当社の食品加工機械のモデル工場としての役割を努めるべく最新の生産ラインの導入を行い、従来の製品の生産性向上を図っているところですが、生産ライン入れ替え時の生産停止期間があったことなどにより、売上高は750百万円（前年同期比18.2%減）となりました。生産高は順調に回復しておりますので、当初の計画を達成できるものと考えております。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は特に発生しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

第1四半期の売上高は概ね当初予想どおりに推移しております。従って、中間期及び通期の業績予想に修正はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上